

MADOCON

ハンドルボックス取扱説明書

■ はじめに ■

この度は排煙換気窓開閉装置「マドコンオペレーター」をご採用いただき、誠にありがとうございます。
マドコンは火災時にはすみやかに窓を開放し、煙を屋外に排出するもので、非常時の排煙設備として効果を発揮します。本装置を長期間に渡り、支障なくご使用していただく為に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用していただきます様、お願い致します。
また、お読みになった後は、すぐに取り出せいつも見られるところに必ず保管して下さい。

■ 安全に正しくお使いいただく為に ■

製品を正しくお使いいただく為や、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止する為に、この取扱説明書ではいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される場合を表しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が負傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



一般的な警告・注意



分解禁止



一般的な禁止



必ず行う

■ 安全の為、次のことは必ずお守り下さい ■

警告		
<p>分解したり修理・改造はしない。</p> <p>ハンドルボックスやスイッチボックスは絶対に分解や修理・改造をしないで下さい。 指づめ等のケガや感電、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p style="text-align: right;"> 分解禁止</p>	<p>強風が吹いている時、窓を開けない。</p> <p>窓が開いていると、強い風で窓があらわれてばたつくことがあります。 窓とマドコン（オペレーター）が破損したり破片落下等の原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>操作まわりに物を置かない。</p> <p>ハンドルボックスやスイッチボックスの周りには物を置かないで下さい。 非常時の操作が困難となり、窓を開閉する事ができなくなります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>

注意		
<p>無理な操作はやめて下さい。</p> <p>閉窓操作中に、ハンドルを回す力が急に重くなったら、それ以上回さないで下さい。 マドコンオペレーターに無理な力がかかり、破損の原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>窓に錠前などをかけない。</p> <p>マドコン（オペレーター）の取り付けしている窓に錠前などをかけてロックしないで下さい。 窓の開閉ができなくなり、故障の原因となります。</p> <p style="text-align: right;"> 禁止</p>	<p>非常時の為の開閉テスト。</p> <p>冬季など、使用しない場合でも1ヶ月に1～2度は窓の開閉テストを行ってください。</p> <p style="text-align: right;"> 窓の開閉確認</p>

■ 製造元

株式会社豊和

〒661-0981
兵庫県尼崎市猪名寺2-21-32
TEL 06-6494-1110
FAX 06-6494-1336

miniシリーズ ハンドルボックスの取扱い方法



【 mini1 】

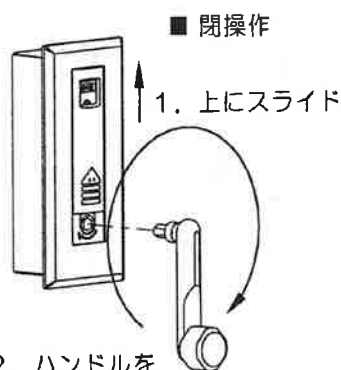


【 mini3 】



1. 開窓操作

- ・ハンドルボックスの押しボタン部をいっぱい迄押し込んで下さい。各窓が一窓ずつ開放されて全窓が開放し、開操作が終了します。



2. 閉窓操作

- ・プロテクターを上部へスライドし、ハンドルを差し込んで下さい。ハンドルを右に回して閉窓します。一窓ずつ閉まり、全ての窓が閉まるとハンドルを抜いて下さい。
- ・操作終了後、ハンドルを手前に抜いて保管する様にして下さい。ハンドルを抜くと同時にプロテクターが自動的に下がり、開窓操作ができるようになります。

2. ハンドルを差し込み右に回す

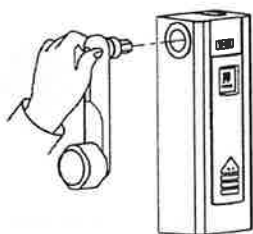
3. ハンドル収納

- ・mini3タイプでは、左側にハンドル収納穴がありますので上の図の様に差し込んで保管して下さい。また、ハンドルはハンドル軸の中心を持って、収納穴から真っ直ぐに抜き差しするようにして下さい。

※ハンドルを取り外さない限り、開窓操作はできません。

⚠ 操作時の注意

■ ハンドル収納
ハンドル軸の中心を持って
真っ直ぐ抜き差しする



- ・本機の性質上、閉窓操作時のハンドル操作感はそれぞれの窓により、軽いものと重く感じるものがあります。これは途中で配索されたケーブルの長短、及び屈折箇所によるもので、故障ではありません。
- ・閉操作時の誤った使用状態でハンドルを操作すると、ハンドルの根元がねじれてハンドルが破損する事があります。
- ・閉操作中は2kg～10kgの力で動きます。全て閉まった時はそれ以上の力を加えても操作できません。さらにハンドルを回すと装置の破損原因となります。
- ・窓が直接確認できない所では、2kg～10kgを目安に操作を終了して下さい。

障子の倒れ止め方法

ワイヤーを配索しても外部に足場があり、ダンパーが取付け出来ない時の障子の倒れ止め方法です。
 (ワイヤーだけでも障子の倒れ止めは可能ですが、安全対策として行います)

1. 方法

- ① ワイヤーの配索をしてハンドルで窓を閉めきった状態にします。
- ② 各図のハンドルボックス毎に示している矢印の部分に M4×4.5 なべ小ねじ (頭の赤いねじ) を入れて、ねじを固定します。
 (押しボタンを押しても開放しなくなります)

注意

NN1・NN3 (E型を含む) については、フレームカバーの無い所にねじを入れますので、ねじが最後まで締め付け出来ずに残ります。

- ③ 保護カバーでハンドルボックスを覆いかぶせます。

2. 足場撤去・内装完成後の作業

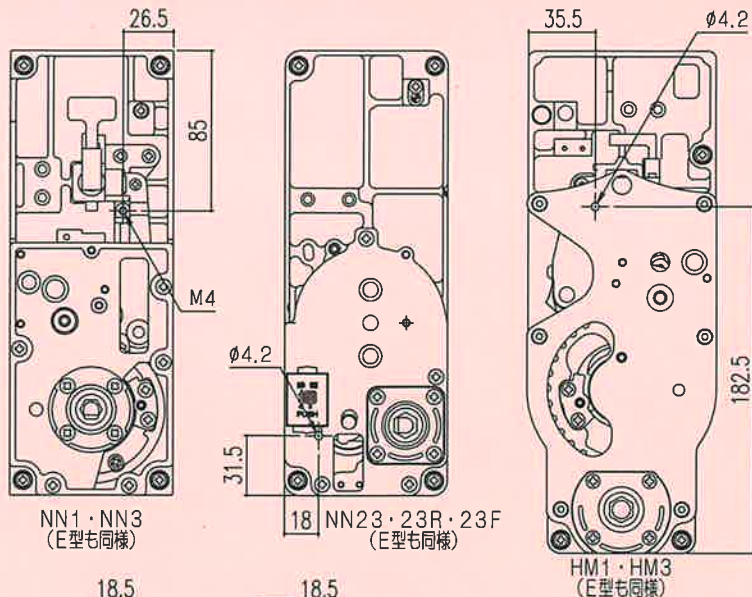
- ① 保護カバーを取り除きます。
- ② なべ小ねじ (M4×4.5) を取り除きます。

※該当のねじを抜き取る時は、押しボタンが押された状態の時もありますので、一度ハンドルを閉方向に回してから抜き取って下さい。

- ③ 窓を開閉させます。(ワイヤーに油を塗布)

※煙感連動 (E型) の場合、開放用モーターの停止位置が不正規の時もあります。該当のねじを抜き取り後、必ず作動信号による開放をして下さい。

- ④ 化粧カバーを取付けます。



■製造元

株式会社 豊和

〒661-0981
 兵庫県尼崎市猪名寺2-21-32
 TEL 06-6494-1110
 FAX 06-6494-1336